

長野県農畜産物（令和7年産）の輸出額（県推計値）を公表します

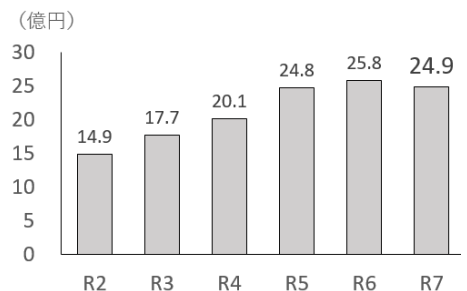
県が推計した本県の令和7年産農畜産物の輸出額は、24億8,947万円（前年比96%）となりました。

（令和6年産：25億8,392万円 → 令和7年産：24億8,947万円）

1 県産農畜産物の輸出額 24億8,947万円

- 主な輸出先は、台湾（13億3,819万円）、香港（6億4,077万円）で、この2地域で全体の約80%を占めています。
- 前年と比べ、アメリカ向け輸出額が30%増加しました。
- 品目別では、ぶどうが11億9,356万円と最も多く、全体の48%を占めています。

県産農畜産物輸出額の推移



（表1）輸出先別輸出額（百万円）

国・地域	R7年（構成比）	R6年	前年比
台湾	1,338 (53.8%)	1,285	104%
香港	641 (25.7%)	782	82%
アメリカ	155 (6.2%)	119	130%
シンガポール	65 (2.6%)	105	62%
タイ	22 (0.9%)	32	72%
オーストラリア	7 (0.3%)	2	350%
その他	261 (10.5%)	258	101%
合計	2,489 (100%)	2,583	96%

（表2）品目別輸出額（百万円）

品目名	R7年（構成比）	R6年	前年比
ぶどう	1,194 (48.0%)	1,340	89%
米	331 (13.3%)	392	84%
市田柿	327 (13.1%)	289	113%
牛肉	246 (9.9%)	219	112%
もも	130 (5.2%)	159	82%
花き	50 (2.0%)	40	125%
きのこ	39 (1.6%)	58	67%
その他	172 (6.9%)	87	198%
合計	2,489 (100%)	2,583	96%

注）輸出額はJAグループ及び長野県農産物等輸出事業者協議会（輸出に意欲的な生産者や事業者等により構成し、海外への販路開拓・拡大に取り組んでいる組織）等への調査結果を基に県（農政部）が推計したものの

2 国・品目別特記事項

- ぶどうの輸出額は、主な輸出先国である香港における需要低迷や他国産ぶどうの台頭、記録的な猛暑による品質・生育への影響を受け、輸出額が減少しました（前年比89%）
- 市田柿は、春節需要に対応できたことにより、輸出額が増加しました。（前年比113%）
- 米は、国内での価格高騰及び供給不足により輸出向けの調達が困難となり、輸出額が減少しました。（前年比84%）



©長野県アルクマ

しあわせ信州

（問合せ先）

担当 農政部農産物マーケティング室
マーケティング係 荻原、丸山
電話 026-235-7216（直通）
026-232-0111（代表） 内線 3025
FAX 026-235-7393
E-mail marketing@pref.nagano.lg.jp